5月3日 火曜日 2日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社
東京都中央区銀座3の5
電話（代表）京橋（56）8646
（直通）販売（〃）0437 広告（〃）3995
編集局 港区芝田村町5の6
電話代表芝（43）1163番
東京 振替貯金口座 170071番

THE NAIGAI TIMES
第3085號（昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日國鉄特別扱承認新聞紙第232號）
（中華郵政台字第637號執照登記為第一類新聞紙類・内政内警台誌報字第0136號）

あすの暦 5月3日・火 旧3月12日

月齢	10.6
日出 前	4.48
日入 後	6.28
月出 後	4.48
月入 前	2.24
満潮 前	2.41
満潮 後	3.25
干潮 前	9.20
干潮 後	9.30

（中潮）

天気予報
今晩 北の風薄曇のち曇
明日 北のち東の風曇、薄陽がさすが、夕刻前から時々雨
【全国概況】東日本は高気圧におおわれているが、東シナ海には低気圧があって東北東に進んでいるため東日本と北日本は薄曇ま、西日本は曇

首相 箱根で記者会見

政局安定のためには解散をも辞せず

記者団と語る鳩山首相（箱根ホテルで＝電送）

【箱根発】箱根ホテルに静養中の鳩山首相は二日午前記者団と会見保守合同など当面の政局について次のような一問一答を行った

問 こんどの国会審議はかなり低調だったと思うが…

答 あのくらいやれれば沢山だよしかし議場がああ少なくてはあまり熱心とはいえないね、質問も大体出つくした形だね

問 自由、民主両党とも保守合同にはいろいろ意見があるようだが…

答 自由党の中には合同したくない人もいるようだね、自由党も民主党も安定政権をどう作るかについて一致していないようだ、しかし現在の政局について話すことは箱根ではやめようではないか、要するに僕は謙虚な気持でゆきます

問 政局転換の見通しはどうか

答 社会党統一も七、八月頃といわれているが中々むずかしいだろうね、保守合同にしてもプールにダイビングする積りでなければできないね、政治家らしい政治家が多ければ合同もきれいにできるが僕は飛込みは余り好きでない方だ解党も合同も国民の承諾を得てやるのが筋だろう、国民の承諾なしに第一党の内閣を投出すわけにはゆかないが、しかし総辞職も解散も政局の安定のためなら辞さないというのが僕の心境だ

問 保守合同がさかんに論議されているが保守党の政策をもっと進歩的にすることが大切ではないか

答 それは確かにそうだ、保守党が政策を検討すると同時に社会党も現在の主張をすこし考えてくれるといいね、外交関係を一変するとか、産業は国営を原則にするとかいうことは国民にとっても心配だろう、そういう点を変更してほしいと思う、一度約束したことは容易に変える べきでは ないからね、社会党が英国の労働党のようになれば大した違いはなくなると思う

慎重に適正措置を

水道・医業類似行為 両法案国会提出準備

厚生省は再開国会に社会保障推進のため十八件の法案提出を準備しているが、このうちとくに国民の日常生活に直接影響のあるものとして、水道法案、医療類似行為者の規制にかんする法案の二つが注目されている、水道法案は前国会で継続審議に持ち込めず流れたままとなっており、医業類似規制法案は、指圧電気療法など医業類似行為は明年一月一日以降法的に業務を禁止されることになっているが、二法案とも国民的関心が強く、厚生当局はこの取扱いに慎重を期し対策を進めている

◇水道法案 水道にかんする根拠法は明治卅三年制定の水道条例だけで、これは地方公共団体のみを対象にして規定されており、およそ時代がかった古い条例である、これを近代的に改めようというのがねらいとなっている、法案の要点はつぎのとおりである

一、厚生、建設両省の権限は従来どおりとし、新たに産業用水道は通産省の指導監督とする

一、中央官庁の権限の地方移譲は政令によることとしてあるが、含みとしては人口三万以下の町村については都道府県の指導監督権を認めた

一、病源生物、有毒物質などについて水質基準を設けた

◇医業類似行為者の規制に関する法案 昭和廿二年成立のあんま、はりきゅう師、柔道整骨師に関する法律の付則十九条により指圧電気療法などの医業類似行為者は卅一年一月一日以降業務を行うことが禁止されている、医業類似行為者の数は全国で一万四千名にのぼりこのうち指圧関係者約七割、電気関係者約三割となっているが、このままでおけば卅一年一月以降これら業者の生活権を奪うものだとして業者は必死に存続を主張している

これにたいし医者、あんま師などは法的に医業類似者の存続を認めることには極力反対の立場をとっており、ただ規制について既存業者だけに限るか、新規のものも認めるか、また身分法的なものとしてその資格制限をどうするかなどについてはまだ結論を得ていない

しかしこれら業者を野放しにすることは国民健康上危険があるとしている、すでに関係業者から厚生当局にたいし存続の猛運動があるとともに医者、あんま師などの反対も強く、第二の医薬分業として成行きが注目されており、場合によっては議員立法も考慮されるのではないかと厚生当局はみている

韓国米輸入交渉近く再開

韓国米十二万㌧の輸入問題は輸入価格で折合わず、交渉は中絶していたが、このほど韓国側から交渉再開の意向が示されたので近く交渉を再開する

この輸入問題は韓国側がトン当りFOB百八十五㌦（CIFで百九十一㌦）と台湾米のCIF百七十㌦よりトン当り廿一㌦も高い価格を主張したので交渉は物別れとなった、ところがこのほど韓国側が交渉再開の意向を示して来たので日本側もこれに応ずることになったものである

四国大使会議開く

オーストリア主権回復条約を討議

【ウィーン一日発ロイター＝共同】オーストリア主権回復条約草案を検討する米英仏ソ四国大使会議は二日からウィーンの連合国管理理事会ビルで開かれる、この会議にはトンプソン米、ウォーリンジャー英、イリチョフ・ソ連、ラルエット仏の各高等弁務官（大使）のほかにオーストリア側からフィグル外相とクライスキー外務次官が参加し、米ソ英仏の順で議長を交替、会議は一切非公開で第一日目と最終日に簡単なコミュニケが発表されるだけである

オーストリアのラーブ首相は卅日ラジオ放送を行い「会議はオーストリアの当然な自由と主権獲得への途を開くだろう、会議は慎重を期するため若干時間がかゝるだろうが、解決困難な問題に直面するとは思われない」と楽観的な見解を表明した

一方ソ連も会議の前途をきわめて楽観しているといわれ、三日間で討議は完了するだろうと連合国当局者に語ったといわれる、西欧側の外交筋ではオーストリアは大使会議でつぎのような問題を提起するだろうと見ている

一、四大国はオーストリアの内政に干渉したり一方的行動をとることを禁ずるような形でオーストリアの独立を明白に保証すべきだ

二、主権回復条約中の一部条項、特にオーストリア国軍を五万三千に制限した条項を修正する、オーストリアが中立を守り軍事同盟に参加できないとしたら強力な国軍をもつ必要がある

三、オーストリア主権回復条約第卅六条は東欧共産諸国からの亡命者の本国送還を規定しているようにとれるがオーストリア憲法は外国からの亡命者の保護を認めており、この憲法規定の有効を要求する

各界まっぴらゴメン

藝能界の巻 ……（4）……

売出しは連発式で

スター製造 あの手・この手

東映で売出した田代百合子

A スター売出しアノ手コノ手をひとつ…

C 失踪の手は古いね

A オーソドックスだが、やはり良い企画を立て続けに二、三本出演させることだな

D 女なら観客の同情をかう主人公に仕立てる、男なら英雄だ

A 連発式パチンコは禁止だが新人売出しは連発式に限る（笑）

E そのいい例が八潮悠子だ、失踪事件をデッチあげようとしたがもうジャーナリズムは騙せない、結局長七郎物（鬼斬り若様）なんかにジャンジャン出演させた

B 変ったところでは田代百合子がいる〃ミス平凡〃に入選して東宝のニューフェイスになった、それに三上訓利（プロデューサー）が目をつけて東映へもちこんだ、ところが雨宮所長はツマランという、すったもんだやったわけだ、それが新聞、雑誌に連日のった、すると田代は有名だという錯覚が生れて、結局東映で売出した

……女優の発掘……

D 「十九の花嫁」の天路圭子、これも東映だがね、これは〃ミス君の名は〃（松竹）に応募して一位になったんだな、それがわかって東映があわてて主役にしたというイキサツがある

田中絹代　天路圭子　山本富士子

E 女優を発見するのはSKD、NDT、宝塚、OSK、まあこんなところだ

B 松竹はSKDに罰金制を作ってるよ

C 卅万円というんだが、引抜く側からすれば卅万円なんか平気だよ

……当代の人気者……

A 当代の人気俳優に移ろう

C まず錦之助だ、絶対だね

E あの口元がいいという、一寸あけているところがね（笑）

B どこがいいなんてもんじゃないね、実際、バッカジャナカロカみたいなもんさ（笑）

E 前髪をパラリとたらすだろう、つまり男のヘップバーンだ

B それから役がいいんだな、観客は俳優と役を同一視するという錯覚があるからね

A 鶴田浩二が当らなくなった、前は鶴田一人で行けたが、今はいい女優が相手役に必要だ

D 「講道館」は当ったよ

A あれは菅原謙二、山本富士子とそろったからだ

……デコの結婚……

A 明るい話をしよう、デコの結婚はおめでたいね、デコといえば女優一人だけで主役が張れるのは彼女だね、男優の錦之助に匹敵する、しかも彼女の場合は、錦之助と違って芸の人気だからえらいもんだ

B デコに続いて柴田早苗、木匠マユリと芸能人の結婚ブームだが田中絹代はどうかね

D 今さら結婚でもないね

A そんなことないよ（笑）それはとにかく彼女の監督作品は皆いいね、いい助監がつく、人徳だな、製作態度もいい、九時開始なら九時十五分前にチャンと現れる、子供にも頭を下げる

C その点ひどいのは[illegible]枝子だな、最近少しずつよくなって来たがね

D 人気はまず裏方にファンをつくることだよ、女では田中絹代、男では笠智衆、三船もボワーッとしているが悪くない、悪い方ではこれも鶴田だ、仕事中に野球をやったりする

A 明るい話でなくなった（笑）話題をかえようや

粋人酔筆

狐に化かされて

平野威馬雄

狐の変化（へんげ）を美しいものとして眺め螺鈿のように粉飾した俳人蕪村は、心憎い程狐の性をえぐっている。「草枯れて狐の飛脚通りけり」「狐火や髑髏に雨のたまる夜に」「水仙に狐遊ぶや宵月夜」「麦秋や狐ののかぬ小百姓」などが有名である。狐については僕にも思い出がある。

三月も末の四月に入ろうという、ぽかぽかと暖い日のことだった。相州葉山村、森戸山の麓一帯はむせるような紅梅のさかりだった。

僕は小学校の一、二年の悪戯っ子だった。友達三、四人と紅梅の香りの中を歩いていると、田越橋へかようトンネル道の方に、一そう派手な白梅の林がみえ、白く霞んだ畑のような陽炎がゆらゆらと燃えていた。ふと見ると、真っ盛りの梅の古木の前で一人の男が、しきりと古木と話している。

「名島船の庄さんだべ」と、友達の一人がいった。庄さんは、すこし素頓狂なところのある独り者の漁師だった。見ていると、こんどは古木に足をからませはじめた。どうも変だ。ませた子がいて「助平な庄さんだな」と笑いこけた。が庄さんは真剣である。見れば陽に焼けて銅色になった両頬から玉の汗が流れていた。僕達はだんだんうす気味わるくなり、一目散に町へ逃げかえった。

そして辻に立っていた顔見知りのおじさんにわけを話すと「庄さんたら、また狐にとっつかれてるだぞ」といった。狐といわれて、ぼく達はゾーッと背すじが寒くなった。あとで聞いたら、庄さんは、白く乱れ咲いた梅林を遊里と思い込み、とりわけきれいな一本が敵娼に見えたのだという。狐にだまされた一つの楽しい例である。

ところが僕も一度狐にばかされてひどい目にあったことがある。それは関東大震災直後のこと、今では有名な作家になっているSやKたちと、みじめな焼跡を歩いた末、詩や芸術について夢中になって、日の暮れるのも忘れて、芝山内を歩きまわっていた。電燈もガス燈もない廃墟の中だった。が、一同は話に夢中になっていたので暗い道など気にしなかった。ところが時々同じ広場にもどってくる。そこだけは一ヵ所ボーッと明るんだベンチがあって、男女がぴったり一つにくっついているのがはっきりと見えた。だがぼくたちは、見ぬふりをして歩いた。が、少し行くと、またもや同じ広場に来る。そしてボーッと明るいベンチ、男女の抱擁にぶつかる。僕達はだんだん怖くなってきて、あまり口をきかなくなった。めいめいが一刻も早く、公園の出口に辿りつこうという焦りを こらえて、なおも歩いた。

やがて夜も更けて、十二時、一時になったが出られない。そしてその間七、八回も妖怪めいて、ドロンと明るいベンチに出てきた。そこには相変らずぴったりと一つになっている男女が、まるで岩塊のように、こびりついていた。

白々と夜が明けてきた。誰かが、はじめて「コワイ!」といった。すると、他の一人がぞーッと水をあびたように身ぶるいをした。そこへ向うから巡査がやってきた。わけを話すと、巡査は妙な顔をして「やっぱり、そんなことがあるのかなァ…。これで三度目ですよ」といった。そして朝の光と巡査とに力をつけられて、あの妖しい広場のベンチをさがしに行ったが、もうどこにもぴったり抱き合った男女の姿など見えなかった。「狐につままれた、というのでしょうね」と、巡査は静かにうなずいた。

青春無宿

次の第一面連載小説

大林清 作　下高原健二 画

第一面連載小説「浅草の鬼」は九日完結いたします。引続き十日から いま大衆文壇にあって白眉の存在を示している大林清氏が登場し、都会の裏街を舞台に、こゝに生きる人々のあやなす人生絵図を描きます。都会の裏街は社会の縮図ともいうべきところ、こゝに生活する人々——浮浪者、サンドイッチマン、パンパン、酔漢、果てはやくざの末に至るまで、およそ人間の持つ弱点をさらけ出した人々がうごめいていますが、だからといって悪徳ばかりが横行しているわけではなく、むしろかえって善良な気の弱いヒューマニストもいれば、この人たちならでは醸し出せないほお笑ましいユーモアたっぷりな挿話も幾つか転がっています。若しもこの世界に作者がいうように市井の英雄——つまり中山安兵衛のような飲んだくれではあるが正義感があって人の良い、そして腕っぷしの強い、人情もろい男を放したらどうでしょう。きっとほお笑ましい話と溜飲の下るような痛快な事件が捲き起ることでしょう。作者は文字どおり腕によりをかけて素晴らしい構想を筆に現わそうと意気込んでいます。挿絵は挿絵界にあってすでに定評ある插美会同人下高原健二画伯が彩管を揮います、御期待下さい。

作者の言葉

一と口にいうと、毎日息のつまるような生活を送っている人々（私もこめて）の頭に風穴をあけて、そこから清新の気を注入するような小説を書いてみたい。そこで私は先ず一人の市井の英雄を創造する。彼は若い、強い、自分以外の何者にも束縛されない。つまり誰しも一度はこういう人間になってみたいと考える人物である。こんな主人公を空想の檻の中から街へ放したらどういうことになるか、作者自身まず、大いに興味を湧かせている。

大林清氏　下高原健二氏

財界春秋

日銀副総裁も拍手

三鬼陽之助

廿八日午後四時から、帝国ホテルで森暁、柴田早苗の結婚披露のカクテル・パーティが催された。列席するものザット五百人。財界人で、筆者の目にとまり、挨拶したのは石川一郎、原安三郎、山本為三郎、杉山金太郎等々の長老を始め、〃死んだ筈だよ組〃の超長老組の顔も見られた。しかし、大半は五十、六十の財界第一線組で、若いところでは山崎証券の山崎二代目専務が、花のごとき自慢の美人夫人を同伴、岳父の鈴木三千代（三楽社長）叔父の鈴木治雄（昭電常務）らと、談笑している姿が目立っていた。

日商会頭藤山愛一郎夫妻の媒酌は、さすが堂にいったもので なかでも「御両人は、当初は見合結婚でありましたが、その後の心境は完全に恋愛結婚であると思います」と、やると、満場破れるが如き拍手。とくに、筆者の傍の井上日本銀行副総裁の如き珍しく頬を紅潮させて、真先きに拍手する。あとで、筆者が「イカメシい副総裁もやはり興奮して…」と、からかうと「三鬼君、僕はあの過程が好きなんだよ」と、全国証券業大会では「証券業者は公正機関である心掛けが足りない」と、ニガ虫を食いつぶしたような顔で型通りの訓辞をした時とは打って変った好人物振り。

不粋な筆者にはその意味が判らないが、新郎、新婦がウエディング・ケーキを切ると、一斉にカメラマンのフラッシュ。「羨やましい」「もったいない」「あやかりたい」の声が、随所に起る。ややあって、筆者のもとにきた新郎「三鬼君、安心したよ、俺のことでは得意の筆が働かなくなったといっていたから」と囁く。事実、あの廿の扉のヒロインが、そのままの筆を我ら「四十年会」のホープ新郎の身辺に進攻させては、時に枕を高くして遊べないからである。

この日、森一族はそれぞれ令夫人同伴であった。運輸大臣三木武夫、昭電専務安西正夫、代議士森清、それに従兄弟関係の鈴木治雄等々、何れも古色蒼然（?）たる夫人につきまとわれていたのは、ほお笑ましくも、若干あわれでもあった。それでも、このほど海外旅行から帰ったばかりの安西専務のごとき、急にフェミニストになったらしく「三鬼君、今夜は僕ら一族も新趣向をこらして早苗両君と一緒に新婚旅行に出掛けるのですよ」と、年がいもなくはしゃぐ始末。この間、五尺足らぬ醜男ナンバーワンの石川経団連会長は「俺は某化粧新聞で、早苗さんと化粧問答をしたばかりだが…」と、語れば、口の悪い某ジャーナリスト「それは美女と猛獣といった図ですナ…」と。とにかく老いも若きもたわいなく楽しめた結婚カクテル・パーティであった。

ソ連圏諸国と単独平和計画

東独首相言明

【ベルリン一日発UP＝共同】東独のグロテヴォール首相は一日の東独紙に掲載されたメーデー・メッセージの中で「東独とソ連圏諸国が単独平和条約の締結を計画している」ことを明らかにした、この条約は東独がソ連勢力下で公然と再軍備する道を開くものではないかとみられている

市況

見送り人気で閑散

手掛り難のところへ休日續きとあって大証券筋の物出買も消極的をきわめ、月曆り市場は依然見送り人気強く、商内閑散のうちに仕手、雑株とも無気力なコゲつき場面、特定株は平和不、東海上が野村の五千株内外の売物がみられ、平和不が二円安を示したほかは売物薄もあって概ね強含み商状、雑株は三円以上動いたものは数えるほどしかなく、殆んど保合圏の小動きで、僅かに東映が大和の二万七千株買に三円高を示し、つれて東宝が五円高、その他菱地所、中部電力などの小高いのが目立つ程度

▽高い株＝東宝五円、中部電、菱地所四円、東映、醇母工三円

▽安い株＝函館ドック、甜菜糖三円

休刊のお知らせ

明三日は新聞休刊日のため同日発行（四日付）の本紙は休刊いたします。

東京株式仲値

└┘新株落△配当落（2日前場終値）

銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値	銘柄	値
特定銘柄		昭電工	73	旭化成	307	カボン	49
東海上	284	日本曹	70	山陽パ	97	三井物	134
郵船	58	旭電化	75	日本パ	88	第一物	93
新三菱	85	三菱造	69	国策パ	94	白木屋	—
日清紡	272	三井造	100	東北パ	111	高島屋	78
味の素	287	三菱重	60	大東紡	90	日活	81
三越	271	石川島	89	商船	51	松竹	203
平和不	195	[illegible]工	133	三井船	48	東宝	1245
三井金	103	東洋ベ	110	飯野海	41	大映	173
三菱金	86	日立造	43	西武	348	日本粉	119
日鉱	76	播磨造	45	藤田興	223	日清粉	147
住友金	90	日平	26	東京ガ	64	日本ビ	151
三菱鉱	40	古河電	66	東[illegible]	428	朝日ビ	174
古河鉱	69	日立製	69	日銀	—	キリン	197
同和鉱	105	東芝	64	東銀	76	宝酒造	76
住友炭	61	三菱電	86	三井銀	69	台糖	211
三井山	56	小松	61	富士銀	—	明糖	105
北海炭	52	日本光	133	日証金	89	甜菜糖	106
東邦亜	60	キヤノ	140	安田火	109	野田醤	189
[illegible]石	62	東京光	38	大正海	85	森永	263
日石	88	東洋紡	133	住友海	77	明菓	155
昭和石	89	[illegible]紡	122	千代田	72	日水産	72
東[illegible]	107	富士紡	107	鋼管	66	昭和産	85
三菱石	97	大日紡	80	日製鋼	70	東洋罐	68
大協石	111	日東紡	60	八幡鉄	51	合同酒	98
日東化	69	[illegible]倉	35	富士鉄	49	三楽	78
日産化	72	呉羽紡	78	神戸鋼	55	大阪糖	150
三菱化	91	東邦レ	103	日特鋼	125	王子紙	193
三井化	103	帝[illegible]	65	日[illegible]金	169	十条紙	203
昭和[illegible]	104	中[illegible]	54	日金工	56	本州紙	86
東合成	99	[illegible]人	115	日セメ	121	三菱紙	88
信越化	81	東洋レ	156	磐城セ	235	北越紙	48
東高圧	109	三菱レ	117	小野田	77	三井不	783
		倉レ	72	横浜ゴ	197	三菱倉	502
				旭硝子	136	三井倉	89
				富士写	113	渋沢倉	96
				小西六	103	東洋埠	—

内外抄

区議会には共産党が大進出した「自治」に冷淡な一般区民と、どんな穴でも狙ってる共産党。

◇

今年は原子大砲らしき新武器のお目見得。モスクワのメーデーはまるで対西欧示威運動会。

◇

日中貿易交渉まとまる。民間の通商代表設置で我慢した中共、花より実の心がけはよろしい。

◇

新しい頭痛の 種の南 ヴェトナム、クビになった「首席」が遊覧地カンヌから号令はいい気なもの。

◇

樺太に漂着した漁夫死体引取りのソ連代表部の通知に外務省応答せず。情より法が先とは。

ないがい川柳　吉田井司選

貧乏にあの夢この夢遠くいる　練馬 飯田 光[illegible]
肩車おぼえ初めは動物園　江東 [illegible]谷 一輪
新たなる涙をさそう雪がとけ　立川 山口 毅
選挙カー降りると小管のバスが待ち　江戸川 五 迷亭
猫腹を背中に立ててにらみ合い　杉並 白石 悦子
ニュールック、バイトで作ったとは見せず　千代田 南 渡波
バスガール名所名所に生きる[illegible]　中野 高野 [illegible]太郎

浅草の鬼

浜本浩　栗林正幸 画　（157）

八重櫻（九）

ロバートが帰ると、梧郎は台所へはいって行った。カーテンにかくれたタイル張りの狭い流し場を洗面用にも使っているのである。

梧郎は、歯ブラシをくわえ、押し詰められた気持で思案した。

新子との生活が、決して正常なものでないことは、梧郎ばかりでなく新子自身も承知している筈である。

最初は、肉体の興味にひかれた火遊びにすぎなかったのが、生活の便法に変り、相互扶助のような格好で今日まで続いている。が、お互いの間にぜんぜん愛情がないとは云えなかった。しかしせんじ詰めると、単なる感傷にすぎないかも知れぬと、梧郎は思うのであった。

当然、二人の生活は、清算されなければならぬ。二人にとって、反省のない感傷は泥沼も同様である。

梧郎の気持を察したのか、新子は接近しようとしなかった。彼女も、窓際の肘掛椅子に身を託して、黙々と思案にふけっていた。

梧郎は、顔を洗い、ネクタイを結んだ。着更えのワイシャツと肌着類を詰め込んだビニールのボストンバッグのほかには、彼の所持品はなかった。

「行くんですか？」

新子は、天井を見詰めてきいた。

「うん」

梧郎は、ボストンバッグと、レインコートを両手に持って、新子の前に立った。

「当分は楽屋暮しだ。君も、一人になって考えてみることだよ」

「そうね」

新子は、梧郎の顔を見ようともしなかった。が、勝気な両眼に、いつの間にか溜った涙が、頬を伝ってハラハラと流れた。

梧郎は、階段の途中から、ふと振り返って戸口を見た。が、扉はぴたりと閉っている。

梧郎は、田原町の交叉点の方へ歩いて行った。彼は、梅子のアパートへ立ち寄るつもりであった。

「何処かへいらっしゃるんですか？」

夏川は、ボストンバッグを携げた梧郎を見て、あやしんだ。が梧郎はそれに答えないで、

「ロバートさんが来ただろう？」

と云った。

「お宅へも？」

「うん。然し、僕は断わりましたよ。この際、劇場だけでなく、吾吾の生活も、根本から立て直さなくてはならないと考えたから」

そう云いながら、夏川と向いあって、梧郎は腰を据えた。

「どういう意味？」

「先ず、河野先生に出て貰うことだな。劇場の経営も、吾々の生活も、先生を中心に立て直すべきだと思うよ。そこで、君と梅ちゃんにお願いがある。さっそくだが、君達二人で先生の所へ行って、相談して貰いたいんだ。僕が行けるといゝんだが、芝居を休むわけにいかないから」

「でも、先生が私達の話に乗って下さるか知らん」

「仲間の総意だと云えば いいよ」

「そのかわり 私にもお願い がある」

夏川は、梧郎を促して、廊下へ誘い出し、

「新子さんと別れて来たんでしょう？」

真剣な眼で、梧郎の顔を鋭く見詰めた。

「うん」

「私ね、事件が円満に解決したらやっぱりハワイへ渡るつもりよ。お金儲けじゃないの。アメリカへ行って勉強したいの——」

話題を解く

強姦か、えん罪か

黒なら大破廉恥罪　白なら人権蹂りん

判決はどう出る？　婦人科医師めぐる怪事件

[illegible]暴行を加えて、商売上の役得だと考……これが被害者婦人のねつ造または錯……た捜査に当った当局に、取調べ上聊か……公判廷に持ち込まれたとしたら、た……度失われた個人の名誉と業務上の信……が成立してこの医師に〝超悪徳〟の……て、逆にまかり間違えば告訴人と検察……奇怪な事件は、目下東京地裁におい

て公判続行中であり、すでに事件現場である医師宅の診察室の実地検証も終えて、来る六日三回目の公判が開かれる、裁判長は先ごろ鏡子ちゃん殺し坂巻修吉事件を扱った山田臘吉判事、係検事は梶原正雄検事、弁護人は亀島正義弁護士、いずれも慎重な審理による判決によって、その白黒は一応判然とするわけだが、この事件の社会的反響の大きさについて、ひそかに関心を持つ記者が、関係者に会って調べた印象によると

疑問の第一は犯行の行われたといわれる場所がカギのない診察室にある高い、狭い診察台（被告人の妻談）であり、犯行が麻酔薬などを用いたものでなく、従って意識の明瞭とみられる状態で、どうして被害者と被告双方の記憶陳述にこうまで完全な食い違いがあるのか、疑問の第二は警察に何ら物的証拠がない（捜査主任談）にもかゝわらず身柄拘束のまゝ立件送検の挙に出たか、この疑問符を解く地裁の判決が極めて注目される、以下事件のあらましだが、被害者、被告とも大きく名誉に関することだけに、公判終了まですべて仮名を用いることを諒とされたい（佐藤）

診察台で犯す　起訴状の内容

被告は否認　〝すべて不能の相手〟

[illegible]

△昭和廿九年十月四日午後一時頃、同じく同区内に住む深溝満枝（三六）を、同様状態の時にこれを犯して姦淫した

というのである

これについて検事は、斎川芳子に対する既遂事件、深溝満枝に対する未遂事件を追起訴し、刑法第一七六条、一七七、一七八、一七九条で、それぞれ準強姦並びに同未遂[illegible]

[illegible]術の後であったのでその様なことはでき得ず、三件とも事実無根で自分には全く覚えのないことであると否認して頑張り、一月廿六日に逮捕され、三月八日に東京拘置所に移監されてからも、現在に至るまで依然としてその態度を変えていないのである

[illegible]な裏づけとしては、去る廿二日、事件現場である被告人宅の診察室で事実審理が行われ、判検事、弁護人、被告人、被害者による実地検証の際、二名の被害者（深溝さん欠席）の陳述がだんだん弱くなったということである、つまりこの事件は、何れも麻薬、睡眠剤等を注射して意識不能にして犯したというのではなく、三人とも、が、[illegible]る

崩れる被害者陳述

弁護人談　疑わしい起訴事実

弁護人の亀島正義弁護士の話によれば

この事件の証拠は非常に薄弱であるように思われる、あるものについては、局部におできが出来ていたなら性行為の出来ないのは当然であるし、またあるものについては、その夫から離婚問題がおこされていることを関知しているし、いま一人については、起訴状の事実に疑わしい十分な資料を握っている…

と語り、さらに弁護人側に有利な

事件には直接関係ないとはいえ、夫の性情、日常生活を最もよく知るものはその妻であり、事件の推移に大きな関心を持つ被告人の妻に聞いてみるのも、事件のあらましを知る一つの手掛りとなろう、以下その談話

〝夫の潔白を信ず〟被告の妻

◇私は夫の潔白を信じています

診察室はドアーになってはおりましても鍵は一つもついていませんし、診察台のある所もカーテン仕切りだけで、居間も待合室も隣り合っていて、いつ患者や家族が入ってくるかも判らない　ところです、そこでそんなことが行われたとは考えられません

◇大体、この事件の初めの飯田さんは、主人の治療を受けたあと「洗滌をして帰った」と、後で申されておりますが、飯田さんが来られた時は、看護婦も知っておりましたが、帰られた時は気づきませんでした、暫く経つと飯田さんの御主人が可成り興奮されてこられたので、主人はびっくりして、「どうしたんですか」とお伺いすると「辱しめをうけたような気がする、といって泣いて帰った」と申されるのです、無論主人は覚えがないので、そのようなことは行われる訳がないと、よく事情を説明しましたが、納得されずに帰られ、その途中、警察に立寄って訴え出られた様です、しかし、その直後は警察からの呼出しなどもなくそのまゝになっておりましたが、次に十月に入って深溝さんの事件があったということを十二月になって知りました

◇深溝さんは夏頃から三ヵ月程治療に来られていたのですが、十二月になってから、十月の四日に事件があったと申出てこられました、そして、初めは奥さんがこられ、次に旦那さんもこられ、旦那さんの申されるのには、「うちの妻のいうこともあてにはならない　初めは六回関係があったといゝ、あとでは二回、それも強姦されたといっているが、僕には合意と思われる」とのことで、結局、奥さんからは強姦、旦那さんからは和姦として、何れにしても慰謝料をくれと申されました、金額は五万円から八万円位と記憶しますが、その件で数回こられているうちに深溝さんの旦那さんは「あの女とは離婚して、他の女と結婚したく思うので、合意であったと認めてほしい」旨のことを申してこられました

◇私の方では何れにしても、主人はそのような覚えはないので、その都度説明していましたが、深溝さん御夫婦の離婚問題は可成り前からだったらしく、奥さんにすれば、私の方から金は出ず、旦那さんからは離婚するといわれるので、せっぱつまって警察へ今年になってから訴え出られた様です

◇いま一人の斎川さんの事件は一昨年のことで、そのときも、旦那さんがいらして「その様な疑わしい挙動があったと思われるので気が済まないから詫び状を書いてくれ」と申されたようですが、これまた、そのようなことはないことを説明して帰っていたゞき、斎川さんは納得されたのか、その後奥さんは二回も手術にきておられますので、何事もなく理解して下さったのだと思っていました、ところが今回、飯田さんと、深溝さんの問題がおきたので、斎川さんの事も遡って問題にされ、斎川さん自身は表沙汰にしないという約束で当時のことを話されたようですが、のち、未遂事件の被害者とされているので迷惑に感じられているようです

◇いずれにしましても、主人は終始、覚えがないと申しておりますし、私も主人の性格や従来までの夫婦としての行動から考えてもそのような事はないと信じていますので、全く口惜しい思いが致します、私としては被告人の妻の立場ですから、これ以上、あまりいろいろの事は申上げたくありませんが、何よりも夫を一日も早く釈放していただいて、在宅のまま調べていただきたいと思うのです

㊤暴行の行われたという診察台㊦待合室からすぐ診察室

〝物的証拠はない〟捜査主任

このように弁護人、被告人、被告の妻と、被告人側だけのいい分をきくと、当然白ということになるが、取調べに当った検察当局の確信はどうか、公判中であるために法廷外における担当検事の意見は聴き得ないが、最初捜査を担当した赤羽署のT捜査主任に事情をきくため訪れると、たまたま選挙違反事件を取調べ中のため面会出来ず、やっと電話を通じて次の事柄をきくことができた、それによると

この事件については判決前であるため何も話せない、ただ事件は物的証拠はなく被疑者（裁判所での被告人を警察では被疑者と呼ぶ）の否認のまゝ、被害者側の供述により送検したものである、一切は判決によって定まるのであって、それまでは何事も申上げられない

と語っている、被疑者が罪状否認のまゝ送検することは多い、がここに「物的証拠なしに送った」ことについて、さらにはそうした薄弱な被疑者を今日なお保釈せず留置を続けていることなど多少の疑問がなしとしない

★ノーチップ制　◉ビール ¥150　5時～7時半迄　屋上 サロン　上野 クロネコ　求女性(83)6729 上野協和銀行裏

疑問点第1

疑問点の第一は弁護人がいうように飯田が果して「淋疾の治療にきた」のであったかどうか、これはこの事件の重要なカギとなるのでその点について、更に深く捜査が進められねばならないはずだった

もしも被害者飯田の夫が被害者の病気を知らずに夫に内緒で通院していたのなら、夫以外の男から淋疾を伝染されていたということも考えられるからである、この点について捜査主任の電話での返事によると「自分は飯田の淋病云々については全く知らなかった」とのことであったが、被告人が検察庁に送検されてから「飯田は淋病で通っていたのだ」といったのか或は初めからその点を申立てていたのか、供述調書を見ていない記者としては正確なことは判らない、しかし廿二日の現場審理の際も、弁護人よりこの点は衝かれたようである

いうまでもなく、ある一つの犯罪に対して、その犯罪がなかったこととしての捜査もするのが普通である、この場合も飯田が淋疾であったかどうかということ（飯田は三回治療を受けにきたのみで、そのあと問題がおきて治療は中絶しているので、当然他の医師の治療を受けなければならない、刑事は被害者の陳述に基づいて、あとでかゝった医師のところへ行き、カルテを見れば判明するはずである）を捜査するのも一つの重要な捜査のキメ手である、それは殺人犯人のアリバイを確める程に重大なことだからである

疑問点第2

第二の疑問は、物的証拠のないこの事件に対し、〝黒〟への唯一の裏付けは被害者婦人の陳述だけとなるが、その陳述が最初「確かに暴行された」から「確かに何かされたような気がする」に変り、或は「されかけたような気がする」と崩れだしたことについて、被害者の記憶陳述が、この犯罪構成にどれだけの決定的重要性を持つか疑わしい、被告人の妻の言葉によればこの種の診察は「内診」することもあるし、従って局部に手が触れることは当然で、それを被害者が錯覚したものではないかといっている、いずれにしても、双方の詳細な供述にタッチしていない記者としては、白黒の推理は成り立たないが、たゞ以上被害者たちのあいまいな陳述以外に明瞭な証拠のない限り、この医師に〝暴行〟の犯性を認めることは酷のような気がする

疑問点第3

第三の疑問点は捜査主任のいう様に物的証拠がなくて送検された被告人が何故今日迄身柄を拘束されていたかという点である、いうまでもなく現行の刑事訴訟法は人権尊重の建前から被告人の身柄を拘留する場合はその第六十条により

一、被告人が定まった住居を有しないとき

二、被告人が罪証を隠滅すると疑うに足る相当な理由があるとき

三、被告人が逃亡し又は逃亡すると疑うに足りる相当な理由があるとき

と明記されているからである、本件の場合、拘留に価する条項は第二号のみとしか考えられないが、もし捜査主任のいうように、物的証拠がなく送致したというのが本当なら、司法警察員と検事のとった措置は矛盾している

注目の判決

次回公判は六日、非公開か

とまれ、記者は捜査官や検察官には直接会っていないので、双方の意見を聞くことが出来ず、そのため事件の正鵠をついていないのかもしれないが、告訴人の飯田が、初め示談の話が出た場合、慰謝料として二百万円要求したという話もあり、また、現場について考えても、狭くて高い診察台の上で（写真参照）ズボン洋服の医師がそのようなことをしたとは常識からも考えられない（二件は白昼である）だが、実際は、果して被告人があくまで主張するように、事実無根なのであろうか、または検事の起訴状にある通り、準強姦（警察では強姦でたてゝいる）が行われたのであろうか、次回公判は来る六日に行われる予定であるが、事件の性質上、公開は禁止となるかもしれない

艶流世界譚…（フランス）…

小説家のアラン・モアが帰宅して細君に「きょうはね、伝記を書いてやろうと思って、マンデス・フランス氏を訪ねたんだが、面白い話を聞いてきたよ—彼が子供のころ、おやじがね、息子の天分を試そうとして、バイブルとリンゴと金の入った財布を、目の前へ置いたんだそうだ。ドアの陰から見ていてね、息子がもし、バイブルをとれば宗教家に、リンゴをとれば百姓に、財布ならば商人にとね、ところが彼は、リンゴをかじりながらバイブルを読み、財布はちゃんとポケットへ入れていたそうだ、そこでおやじは、息子を政治家にする決心をしたんだそうだよ」聞き終ると細君、早速我が子にもテストしてみんものと部屋を出ました、暫くしてもどったのでアラン先生「どうだったかね、うちの坊主は？」「それがあなた、大へんよ、聖書とリンゴと財布を出したら、先ずリンゴをひったくって、それから」「ウン、それからどうした？」「オッパイをしゃぶるのよ…」

モダン歳々記　弘法大師と若道

弘仁十年五月三日、空海上人は真言密教を天下に布教するため、高野山に登って七間四面の金堂を建てた。空海は後の弘法大師、これが高野山金剛峰寺でこの創建の時に空海のいろは歌が作られ、四十七文字の仮名文字が生れたのだということである。

弘法大師の作は「いろはにほへと」ばかりではない。芝居の石童丸のような美しい稚児を愛することも大師から初ったのだということになっている。「そもく衆道というは、その古に弘法大師文殊に契りをこめしより始りしぞかし」という言葉で始った「弘法大師一巻之書」という男色のアルス・アマトリアが世に伝っている。勿論、本当のお大師様には無関係のことかも知れないが、『稚児様の事」「尻突き様の事」「弘法大師奥の手の心得の事」などとなかく面白い。

高野山は女人禁制の山だった。それだけに男色も栄えたのであろう。また戦国時代には男女交合の法悦を説く真言立川流の秘法などもこゝに入って、案外に支持されたような形跡がある。戒律が喧ましいところに却って邪淫の花が咲くようなものだろう。（鮭）

あすの運勢　—五月三日—　高島象山

▲一月生—吉運の日で万事機運に乗じて飄進すれば目的叶い利達す
▲二月生—自他共に人気あがり信用厚く商売繁昌し栄達あり開業吉
▲三月生—商勢振わず気迷い心動いて不安多し静かに稼業をまもれ
▲四月生—自動的技能を発揮して努力すれば効あり相談事纒り早し
▲五月生—辛抱して一と筋に努力すれば漸進的向上し商売繁昌あり
▲六月生—誠実を守り稼業に努力して幸福来る気迷いは失敗の元也
▲七月生—満潮合せ呑むの気概を以て進めば目的達す好き嫌いは損
▲八月生—勇気を出して物に屈せず努力すれば栄達あり改革移轉吉
▲九月生—大望は空想に流れ大欲は無欲に至る消極的に堅実にせよ
▲十月生—大事はよろしからず小事は調い達成する誠実に行うべし
▲十一月生—依然として前日以上に発展の気運高まる日奮闘して良
▲十二月生—稼業無事に進展するも交際外交上に間違い起りやすい

ラジオとテレビ　2日（月）

	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニッポン★ 1310KC
6	00 ❶子供のシンブン❷劇「生きている山脈」（5） 25 物語「オテナの塔」	05 英語会話 松本亨 30 受信機講座 藤達 40 科学クイズ朝比奈貞一	10 東西こぼれ話 小金治 25 バイバイ・ゲーム 55 スポーツ・タイム	00 劇「少年宮本武蔵」 10 劇「すずらん太郎」 25 落語「青春日語」枝太郎	00 劇「ポツポちゃん」 25 劇「少年太閤記」 35 地方政治の新陣容決る
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 三つの歌 司会・宮田アナ 星講堂にて	00 20世紀の音楽 6人組の作曲家達 秋山邦晴 30 若い女性「生活の中から社会から」松岡洋子他	10 録音ニュース 20 朗読「潮騒」東山千栄子 30 四つの明星 伊藤久男 奈良光枝 泉友子ほか	10 紅茶サロン奥野信太郎 20 ものまねコンクール 司会・市村俊幸 織井茂子ほか	00 ラヂオ夕刊 20 花のステージ鈴木真夫 30 ❶歌謡漫談 シャンバロー❷落語「桃太郎」可楽
8	00 お父さんはお人好し 花菱アチャコほか 30 浪花節「宿場の女」東家浦太郎	05 座談会「アメリカは日本の動きをどう見るか」今井義一 今村得之 仙波太郎 小糸忠吾ほか	00 劇「ふな屋敷」山形勲 永井智雄 荒木道子ほか 30 タレント・スカウト 松井翠声 小金馬 照菊	00 六大学春の音楽リーグ戦 明大 東大 30 劇「雪之丞変化」市川中車 岩井半四郎ほか	00 ハロー・ハロー・クイズ 司会・テディ・中村 30 大学勝抜き歌合戦 益田喜頓 山内謙
9	00 ニュース解説館野守男 15 街頭録音「親から子へ子から親への注文」 40 春子の手帳 メイコ他	00 名作劇場「バラとゆびわ」田中明夫 田上嘉子 横山道代 三田松五郎 菅井きん 内田研吉ほか	10 銭形平次捕物控「藤吉殺し」滝沢修 渡辺篤他 35 ❶音楽汽車 あひる艦隊❷漫才 一蝶・美代子	00 何処へでも 徳川夢声と芸妓学校 30 歌謡浪曲「明治一代女」広沢虎子	00 歌謡曲 勝太郎 神楽坂玉枝 青木はるみ 30 歌の二人三脚 佐伯徹 宮崎泰子
10	15 録音構成「お父さんとお母さんへのいい分」 40 風流歌草紙 [illegible]	00 ❶初級英語 小野嘉寿男❷上級国語 増淵恒吉 45 気象通報	05 今日のニュースから 15 劇「新選組」木村功他 30 舞踊曲「シンデレラ」	00 英文和訳 岩田一男 30 解析（1）田島一郎	00 劇「南無三宝」小沢栄他 15 落語「ズボン」円右 35 夜の歌謡曲 ひばり他
11	10 世界をつなぐ 20 水晶 岡田乃水士・作	25 問屋の機能とその経営 20 医学の時間 大井清	10 夢のトランジスター 岡部豊比古 沢満良夫	00 青空会議「憲法は改正すべきか否か？」	00 スポーツ・カレンダー 40 漫画家の生活と意見

テレビ

★NHKテレビ★ ◆6・00 五月の誕生祝◆6・30 盆景の話◆7・30 ジェスチャー◆8・00 映画サロン「亡命記」◆8・30 劇「やがて蒼空」内田研吉 水乃也清美 南条秋子 中台正 公郷圭子ほか

★日本テレビ★ ◆6・00 紙芝居「朴子春」◆6・45 手品教室 安部元寿◆7・30 おしゃれ教室渡辺紳一郎他◆8・00 ❶漫談 突破❷俗曲 さくら❸落語可楽◆8・45 おさらい会 藤間秀斎ほか

★KRテレビ★ ◆人形と影絵 ろうそくの話◆7・30 ❶落語「船徳」文楽❷曲ごま 三増紋也◆ショーボート物語 のり平 橘薫也◆8・30 タレントスカウト 司会・松井翠声 三遊亭小金馬 照菊ほか

あすの番組

NHK第1	NHK第2	ラジオ東京	日本文化	ニッポン
7・45 朝の訪問佐々木惣一	8・00 療養の時間千種峯蔵	8・00 歌のない歌謡曲	7・30 想い出のメロディ	8・45 お早うブーちゃん
8・05 名演奏家の時間	8・30 大作曲家の時間	8・35 劇「花のゆくえ」	8・25 劇「青春のある所」	8・45 お好み歌謡曲
8・30 趣味の手帳大島鎌吉	9・15 劇「平和とともに生きた人々」	9・05 チヤツカリ夫人	9・00 昔の歌今の歌	9・00 劇「サザエさん」
9・15 主婦日記 飯田深雪	10・00 ラジオと私達の生活	9・45 想い出語る尾崎士郎	9・15 小説「誰に恋せん」	10・00 やりくりチヨ子さん
10・05 けさの話題松宮克也	10・30 歌劇フィガロの結婚	10・10 名作「良人の貞操」	10・40 劇「君ひとすじに」	11・00 連続劇「信子」
11・15 朗読「せみと蓮の花」		10・45 医学の扉 千葉保之	11・35 連続劇「東京の人」	11.35 朗読「浮雲」高橋博

浪人街道（145）

木村荘十　野口昂明画

春情（一）

「あなたはさっきの話では、大名の御曹司だそうですが、根ッからの浪人の子のようなことを云われますな」

啓之助は、浪人者にそう云われて笑った。

「そりゃァそうですよ。いきなりお前は大名の子だなんて云われたって、急にそんな気持にはなれるもんじゃない。私は、大名になるようなことを、何一つしていませんからな」

またも、吉原通いの駕籠がやって来て、浪人とすれすれに通っていった。

浪人者は道をよけようとしてあっと叫んだ。

「無礼者ッ」

「どうした」

「傷が、傷が…」

佐吉の子分が簡単に手当をして布で縛っておいた肩の傷が、急に動いたために裂けたのでもあろうか。

啓之助は、素早く駕籠を追って、その前に立塞った。

「客をおろせ」

「なに、ふざけたことをいうな。手前は侍の風をした追剥ぎか…ふン見損っちゃァいけねェ、俺を誰だと思う、馬道の熊、またの名を地震の熊というおあにィさんだ。大事な客をこんなところでおろせるか、どきな、どきな」

「貴様、俺の腰にさした刀が眼に入らぬのか」

「ヘン、二本差しが怖くて、でんがくが食えるか。どかなきゃァこうしてくれる」

駕籠をおろして、いきなり振りあげた手を軽くつかんだ。

「てェてェてェ。ち、畜生、な、なにをしゃがる」

「素直にいうことをきくか、それとも、この腕を折ってやろうか」

「痛てェ、か、勘弁して下せェ」

「おい、兄貴、意気地のねェことをいうな、背後にゃァ地響也の松がついているんだぜ」

「松、やめてくれ。何時もの侍とはお侍が違う。腕が折れちゃう。お客人、済まねェがおりておくんなせェ」

「おりろと云うならおりてもやるが」

駕籠の中から落ちつき払った声だった。

「俺がおりたら、話は面倒になるばかりだぞ」

武士ではない。といって町人の言葉つきでもない。

啓之助は、少々、こっちが無理だと思ったな、

「この駕籠が、人をよけようともせずに無理をしたので、手負のつれの傷が裂けて苦しんでいるのだ。御迷惑だろうが、この駕籠を神田まで貸して貰いたい」

「そいつァちょっと迷惑だな」

「お手前の用は吉原通い。こちらは人の命にもかかわる傷のため」

「ふン、勝手なことをいう侍だな。こっちだって、今夜来てくれなければ、おいらんが死ぬといっているんだ」

ぬっと出て来たのは遊び人風の中年者だった。派手な丹前風で一本腰にさし、駕籠屋の提灯をとって大胆にも啓之助の方に突き出したが、

「あ、貴様は佐久間周馬ッ」

と飛びすさって刀をぬいた。

続 情炎の千代田城 (105)

岩崎 栄
寺本忠雄 画

金（十四）

鋼鉄のような緊張が解けた。見ていた男たちがひとしく一度に、神経がゆるみほぐれると、叶の口から小鼻を開き、口をあけて、ほっとした息を吐きながら、さてどっちが深傷なのか——どっちも死ンでしまうのか——と瞳を凝らして首を傾けた。

どっちも動かぬ。郷之助はブッ仆れたまゝ片手に上半身をさゝえ片手の刀を突きだしたなりに、面を地面に伏せているし、一方の千代太郎は、これも砂に坐ったまゝ体を伏せ、左手を突き、右手の刀を郷之助に構えた姿勢でいる。

あくまでも明るい陽光が、その二人を残酷な熱さに照りつけており、雀がペチャクチャと喋りだした。

「うん、なるほど！」

木人が、庭の向うまでも届く大きな声で、膝をポンとたたいたのと殆ど同時に、千代太郎が、ジリリ、ジリリ……と体を起こしかけた。

お辰が、

「あれ、千代太郎」

と中腰になり、八百定も「おおッ」と縁先きに這い出して行った。

ジリジリと、刀をやはり、郷之助に構えたまま上半身を起しきったとき、郷之助は卵を叩きつけたように潰れてしまった。

千代太郎は三間ばかり、あとずさりすると、刀を鞘に、パッと袴のヒザをたたいて、縁側のところに戻り、

「試合仕りました」

正しい武家の作法で白石におじぎをした。

「うム、みごとであったのウ」

めったに、感動を現わさぬ白石なのだが、白扇をサッとあげて、煽ぎたてるように、

「木人、ほめてやれ、ほめてやれ」

お辰は泣き伏さり、八百定は、

「ちくしょうめ、こんちくしょうめ」

としきりに、拳固の甲で眦を引っこすっている。

お静が、木人の飲みかけていた茶碗に、なみなみと酒を注ぎ足したのを、縁端に持って出て、

「千代ちゃン、あっぱれ。さ、これをグッとおやりよ」

「てヘッ、まいどおありがとうさま」

「おふざけでないよ。ホヽヽ」

白石が、庭の彼方で棒杭のように立ちつくしている家来どもに手を挙げて、

「郷之助の死骸を始末せい」

と命じた。

「はッ」

二、三人動きかけるのを、木人が、

「待ッたり！」

ととめて、白石に、

「医者だ。どこか静かな部屋に運ンで、手当をさせろ」

白石は不審な顔つきで、

「死ンだものに医者は要るまい」

「死んでは居らぬ。ミネ打ちでシタタカに胴を払ったのだ。のウ千代テキ、そうであろう」

千代太郎はグビリ、グビリやっていた茶碗酒を置いて、ニッコリと、美女のように眼のフチを赤く、

「アバラ骨を一、二本、打ち折ったかも知れねえンで」

「うん、その見当だ。うまくやったな」

このときお静が「あれ！」と腰を浮かした、

「中司様が動きます」

いかさま、郷之助が起き上って、苦渋の表情で、ヒョロヒョロと縁さきに歩いて来た。刀は持って居らぬ。

新人山脈

鈴木瑞穂（新劇）

廿七年九月に民芸勉強会の生徒として入ったが、同年十二月「五稜郭血書」で一人五役の大奮闘が認められ、中野孝治と二人で研究生に昇格した、父と兄二人とも海軍将校で、彼もまた海兵在学という軍国一家だったが、次々と戦死して彼だけが残り母一人子一人の二人暮しだ、処が京大経済学部二年在学中演劇の魅力にとりつかれ、とう〳〵新劇界にとび込んだ不肖の子、いわゆる〝新劇青年〟くさいキザッぽさのない素直さに好感がもてる、昨年の新人公演「常盤展田」では労組の若い指導者という主役をつとめていた、気負った小英雄の演技でなかったのはいゝが、指導者にしては少々線が細く説得力の足りなさを感じさせた、初主役で少々のぼせていたせいもあろう、最近多少自意識過剰気味で「まだアマチュア段階の自分が職業役者としての演技を要求されるのは空恐ろしいことだ」と考えている、「一体役者の素質があるんだろうか」と疑いたい　現住所＝新宿区鶴巻町三〇五千山方

新東宝、岸恵子の出演を折衝

新東宝では伊藤大輔監督で「下郎の首」を近く撮影開始するが、同映画で田崎潤の相手役になる主演女優に岸恵子を予定、松竹側と目下折衝している

「鳴神」の出演者決る

東映、近代映協提携「鳴神」は前進座の大阪歌舞伎座公演、地方巡演のあい間を縫って七月から九月まで東映京都撮影所で製作する、決定した主なる出演者は鳴神上人（河原崎長十郎）雲絶間姫（乙羽信子）早雲王子（河原崎国太郎）文屋豊秀（東千代之介）みよし（日高澄子）演出吉村公三郎

歌舞伎王国ゆらぐか

鴈治郎 松竹を脱退？

七月、新劇團提げ東宝劇場出演か

歌右衛門らにも誘いの手

中村歌右衛門　林又一郎　尾上菊次郎　大谷友右衛門　沢村訥子　中村鴈治郎

注目を浴びていた東京宝塚劇場の七月公演に長谷川一夫・中村扇雀の顔合せが決定したが、これに伴ないまたまた扇雀の父中村鴈治郎が今月の大阪歌舞伎座出演を最後に松竹を脱退し、七月には鴈治郎劇団を結成、東宝側に走る見通しが強くなった、さらに吉右衛門劇団の立女形中村歌右衛門にも東宝から出演交渉が進められており、これを機にいよいよ歌舞伎界に一波乱が起りそうだ

さきに坂東鶴之助の復帰拒否と、小林一三氏の「東宝歌舞伎」声明問題の中心人物として去就を注目されていた関西歌舞伎の大立物、中村鴈治郎は、遂に松竹脱退の肚を決めた模様で、七月に鴈治郎劇団を結成して東宝劇場出演が実現する見通しが濃くなった、現在鴈治郎劇団に加入を噂されている顔ぶれは沢村訥子、林又一郎（鴈治郎の兄）尾上菊次郎らに宝塚新芸座の片岡右衛門、嵐三右衛門などで、鴈治郎・扇雀父子にこれだけの脇役陣が揃えば一応充実した舞台となり、東宝劇場での歌舞伎公演が可能視されるわけで、この裏には小林一三氏と大阪歌舞伎座の持主千土地株式会社々長の松尾国三氏との歩み寄りが今年初めから行われていた模様であり、松尾氏は赤字続きの大阪歌舞伎座を黒字経営にするため松竹と手を切り、東宝と結びつきたい気持を持っているようで、その前哨戦的な布石としても実現の公算が大きい、一部では鴈治郎の動きを松竹へのケンセイ策とみている向きもあるようだが、同様に研究劇団を結成し松竹脱退も辞さぬと息まいている中村富十郎（鶴之助の父）の場合もあり、鴈治郎の投じる一石で六幹部連の動揺は一層深刻化をみせ、遠からず歌舞伎界の地図の塗り替えが大巾に行われるのではないかとみられている

歌右衛門も乗り気？

一方、歌右衛門と長谷川一夫との顔合せは、東宝が七月に長谷川の実演を計画した当初から関係者間で話が進められていたし、歌右衛門は中村吉右衛門の死後、吉劇団から離してくれと宣言したこともあったりして、東宝からの誘いも大きな含みを持っているようだ、歌右衛門はさる廿八日新富町の松志満で「東宝からお話があったことは事実です、長谷川さんとは昨年北海道で共演しましたし、扇雀さんとは二月の莟会公演で〝妄執〟〝天守物語〟などを一緒にやりましたので、お互いに気心が知れてますから、一緒に出演できればうれしいのですが、私としてはいまは何とも申上げられない」と語っており、七月の吉右衛門劇団は猿之助一座および時蔵とともに歌舞伎座出演が予定され、幸四郎が七月に松竹の「荒木又右衛門」撮影のため舞台を休むので、歌右衛門の東宝劇場出演に対しては吉劇団の比重も考えられ、また中村勘三郎の相手役がいなくなるところから、松竹では七月以外の月なら出てもいい意向のようで、歌右衛門が東宝に出る場合、大谷友右衛門の歌舞伎座出演が考えられる、彼は七、八月は映画出演が予定されているが、先の友右衛門復帰は吉劇団の歌右衛門に対するゼスチュアとみられている矢先だけに、問題はなか〳〵面白くなりそうだ

その日そのとき ②

コロムビア・ローズ

あっぱれ名捕手？

だが歌うようにはいかんデス

〔とき〕今にもポツポツと落ちてきそうな空模様だ、春とはいえど肌寒く、グラウンドの土はソウケ立った鳥肌のようにボコボコと荒れている　そこで今しもコロムビアレコードのアーチスト・チーム〝ウマイナーズ〟と文芸宣伝チーム〝ゴモットモーズ〟の交歓試合が始まろうとしている

〔ところ〕こゝ明治座裏浜町公園野球場のベンチには並木路子、伊達みどり、藤浦洸の応援団、選手に岡本敦郎、鳴海日出夫などが一応ユニホームを着てボールを投げている、もちろん軟式の健康ボールという打てばボコンという代物だし、腕前など拝見してもお世辞にも〝ウマイナー〟といえる野球ではない、しかしユニホームだけはさすがにパリッとしたプロ・クラスで　特に背番号が背中一ぱいにいばりかえっているところなんかまったく嬉しいようなもンである、そしてその背番号99番が文字通り紅一点のコロムビア・ローズ選手なのである

「あたしがもといた市役所に女子野球のチームがあったの、そこでキャッチャーをやってたのよ、ホントよ、そりゃァ、むずかしいルールをきかれたってわからないけど、一応は知ってるつもりなのよ　だから見るより自分でやっているのが好き」といってグローブをポンポンと叩いてみせる、なるほど「娘十九はまだ純情よ」から「リンゴの花は咲いたけど」そして「哀愁日記」などレコードでは一応ヒットを飛ばしているのだから案外いけるのかもしれない　そこで彼女とキャッチボールをやってみた、ポン、ポトリ、トコトコ…これは大変なことである　とにかくボールを拾っている時間の方が長いからだ、つまり彼女は所詮女流野球のチャンではなくて歌い手のチャンなのだ

「いゝの、いゝの、それでもいいの、あたしは好きでやってるの」そばから並木路子がチャチャをいれる、いやはやお賑やかなことだ、もっともこれでいゝのだろう、おアシを取って見せる野球ではないのだから、といってそのつもりでレコードを作られたり歌われたりしたらたまらないのだが「ピッチャー、打たせろ、打たせろ」ローズ君も〝ウマイナーズ〟のピンチについデッカイ声を出した、その声はけっして純情でも哀愁でもない当り前の娘の声だ、しかもけなげに三塁コーチにまで出て行くからよほど彼女は好きなのだろう　そしてツーとすべってスライディングをやってみせる、何ということはない舞台で踊っているようなものだ、と見物席から声があった「コロンダヨ・ローズ頑張れー」そこでゲーム・セット

メロディの旅

近頃の艶ばなし

浮氣はその日の……？

ツライ流行歌手の亭主族

「歌手を女房にしたら大変だね　何故って、自分の亭主とは離れてだよ、十日も十五日も男仲間と連れだってあっちへいったりこっちへいったり、そのうちに旅情のつれずれってやつで、つい誘惑の手にかゝって、どうかなりゃしないかと気が気でないだろうよ」

「まさかそれほどひどくはないだろう、亭主を持ってれば皆おカタいさ」

「でも人の話では流行歌手の地方公演というと、彼女はあっちとくっついたのこっちとひっついたのとよくいうぜ」

菊池章子

「まあ中にはそういうのもいるさ　しかしそうなってしまえばお終いだがね」

「菊池章子が最近そんなことで話が湧いているが—」

「ディック・ミネと一緒に出てきたとかいう話かい、あの話には前奏曲があるんだよ、つまりね、菊池の亭主という人が作曲家の大久保徳二郎、この徳さんというのが女に好かれるタチなんだよ、もっとも作詞、作曲家というのは、いい歌を作るとどこからともなく女性が集まってきて、歌を教えるの教えないのといっている間に、つい何となくおかしな関係になってしまうそうだが、この徳さん、菊池は関西へ行く、自分は京都へ映画音楽の担当で撮影所へ行くで、お互いに十日も廿日も離れていて肌寒さに耐えられない、そんなやるせない気持で彼は東京へ帰ってきたが、飲み仲間と騒いでるうちに足がネオン輝く夜の花園に迷い込んでしまった、まあ それは それでいゝとして、彼が家へ帰った途端、菊池が帰って来てしまったんだ、もういくらジタバタしても後の祭り、彼女に何やらついている首の印をみつけられて、サンザン油を絞られたというわけなんだがね、彼女はその時、私なんか絶対に道草は食わないのにといったそうだ、ところがその真偽をある歌手に質したところ、変ねェ、名古屋で朝、ミネさんと一緒に出てきたのは菊池さんじゃなかったのかしら—というわけだ」

菅原ツヅ子

「女の歌手の中で、気分を出して歌う前に、彼の所に飛んで行かなければ調子が悪いというのがいるそうだが—」

「うんそんな話も聞いている、どこへ行くのも二人一緒だったそうだが、今はどうしているかなァ、二人とも別れているから、それにしても菅原ツヅ子はホントに気分を出して歌うからなァ」

「新人にもなかなかたいしたものがいるぜ、歌手仲間はもちろん、作詞、作曲家、ディレクターなど皆から総ナメされているのが、何でもビギンが好きな男だとか」

「しかし中には悪いのもいるんだぜ、地方公演で人の目につかないと、君の歌をどん〳〵売ってやるとかいってね、浅野靖子はもう結婚したが、ある宣伝マンにラジオに出してやるとか何とかいわれて追い回され、ホウホウの態で逃げて帰ってきたことがある、可哀そうだったな、あの時は…」

龍野美智子

「ある新人は某先生と親しくしていて、バスに乗ってもなかなか熱いところを人に見せていた間は、レコードがよく出たんだが、彼女これじゃダメだ自分の芸で苦しんでゆかねばならぬと思って彼と手を切ったら、途端にレコードの売行きがバッタリ止まってしまった」

「そういえば竜野美智子、この頃ちっとも出なくなったね、そうか、そんなことがあったのか」

映画やぶにらみ

猿飛佐助（日活）

▽…ひとたび呪文をとなえればドロンと煙になって姿を消してしまう猿飛佐助は「立川文庫」きっての英雄？　で、ひと昔前の少年達にとっては全くのアコガレの的でもあった、この作品も彼（フランキー堺）とその名コンビ三好清海入道（市村俊幸）が主人公、片田舎の青年だった二人が〝真田十勇士〟の一員になるまでが話の筋になっている、演出井上梅次

▽…出だしのシーンをどうも何処かで見たようだと思ったら、それもそのはず、ジェラール・フィリップ主演のフランス映画「花咲ける騎士道」をそっくりそのまゝ拝借しているのには些か驚いた、もっとも立川文庫的にやられても困りものには違いないが、こういうのも見ていて面はゆくなって来る　ただこの作品でいたゞけるのは主演のフランキー堺で、彼がコメディアンとしてもなか〳〵捨てがたい新鮮な味を持っている事だけはよく判る、だから本来ならこういう彼の才能に合わせて、もっと奔放なアイディアを駆使した作品にも仕上る可能性はあるのだが、と惜しまれるわけだ（静）

【写真はその一場面、フランキー堺】

世界的大楽団

シンフォニー・オブ・ザ・エア來日

名指揮者トスカニーニに指揮されていた世界的な交響楽団である元NBC交響楽団〝シンフォニー・オブ・ザ・エア〟は二日午後三時と十時の二隊に分れ軍用機で、指揮者の一人ジョンソンは遅れて十一日それぞれ来日する、演奏者九十二名、関係者十三名計百五名という大世帯とあって受入側は大汗だが、廿九日、先発隊として到着した会長ドン・ギリス氏は来日の感想をつぎのように語った

訪日はNBC創立以来十七年間の宿願であったがそれが実現できてうれしい、ニューヨークでリハーサルはやってきたがよりよい演奏をお聴かせするために当地で公演前にもリハーサルをする、トスカニーニもこんどの極東旅行の成功を期待してくれている、演奏曲目にはチャイコフスキー、ブラームス、その他米国の作曲家のものを用意しているが、日本の音楽家やその作品を知りたいというのが一同の念願だ

おしゃべり横丁

〝オネガイしまーす〟
でも、選挙じゃないわよ
—白い羽根募金

〝オガサワラ流〟なの

ムーアのエチケット

○…テリー・ムーアは日本へ来たことはありません、しかし日本からハリウッドを訪れた日本の女優は何人かいるので、彼女はその一人山口淑子に対しキッスの技法をゲンシュクに伝授してやった代りに〝シャーリー・山口〟からは写真のように両膝をキチンと合せて座るオガサワラ流のエチケットを学びました（とかいう話デス）

○…さてテリーはいま「アリスンの肖像」のスペインロケからロンドンの常宿ドーチェスター・ホテルへ戻って来たところですが、レセプションへ出かけようとしたら カメラマンが 来ました「仕様がないわねえ、まだ靴下もはいてないのに」とポンとヒザ頭を打ちましたら「そうだわ、面白いポーズしたげる、ジャパニーズ・エチケット、オガサワラ・スクールよ、ナイスでしょ」エイヤッと、イヴニングの前をまくってソファの上に踞り足を揃えてかくの如し、オッパイの谷間小僧が見えたり、ヒザをムキ出したり、とんだオガサワラ流もあったものですが、まァまァそれもご愛嬌としましょう【写真はキーストン特約】

はと笛

▽…新東宝がブラジルロケをすると いう「リオの花嫁」の壮行会が去る廿八日八重洲口Kホテルで行われた、とにかく新東宝としては「ハワイの夜」「ハワイ珍道中」以来の外地ロケなので服部社長、渡辺専務、星野所長と重役陣も総出演で会場に早くからつめかけていた

▽…ところがかんじんの壮行される藤田進、大木実、木暮実千代、安西郷子がきていない、あげくのはて一時間も遅れて木暮が駈けつけたが、結局仕事が残っているからと五分間で〝ザッ〟と消えちゃった、後に残ったのはまったく野郎ばかりでウロ〳〵ノソ〳〵「いやはやブラジルの花嫁はお色気がないものですなあ」と今さらブツブツは何ともお気の毒さまでした【写真は木暮実千代】

日劇ステージショウ

『虹の彼方』に次ぐ日劇ステージ・ショウは十日初日で塚田茂作、キノトール、小野田勇脚本、野口善春演出のミュージカル・コメディ『舶来怪盗傳』全十六景と決定、振付は佐伯譲、黒井隆、青木資二、主なる出演者は三木のり平、千葉信男、坊屋三郎、宮野千草、空飛小助、南道郎、國友昭二、旗照夫、中原美紗緒、濱口庫之助とアフロ・クバーノ、日劇ダンシングチームなど

・俳優座「どれい狩り」公演

俳優座では第二回本公演として、初の安部公房作品「どれい狩り」（五幕）を千田是也演出で六月に上演することになった、これは太平洋の孤島で発見した猿とも人間ともつかぬ珍獣で、温順だが恐ろしく繁殖力旺盛なウエーという動物を労働者、軍隊代りに使っている国家の奇想天外な風刺劇、千田是也、小沢栄、松本克平、中村美代子、菅井きん、辻伊万里などのほか俳優座が総出演する

催し

松竹新喜劇で「子供デー」五月の演舞場は松竹新喜劇の出演だが八日、十五日の両日曜日午前九時から十一時まで『子供デー』を開催する、出し物は館直志作『たそがれの虹』三場、川竹五十郎作『お祭り提灯』二場で子供は入場無料、大人は一〇〇円

第一回習桐会日本画展　八日まで澁谷東横七階画廊

薫風特選芸能祭（落語）志ん生（舞踊）神楽坂とり子（立体落語）林三平（浪曲）綾太郎（漫才）リーガル千太、万吉（講談）貞丈（落語）小さん（新内）鶴賀一葉太夫、園代太夫（民謡）小梅、八日五時卅分より神田共立講堂

南遊独演会九日六時、上野本牧亭、大隈外務卿暗殺・不義事件他

名選 都々逸

石井きんざ選

好いた同士が逢えないなんて　不自由な浮世に誰がした　浦和・尾道　通人

昇る朝日が憎らしくやし　あなたを無理に泊めた朝　世田谷・森山阿呆奴

聞かずに下さい今更いくら　泣いても帰らぬ人のこと　高崎・河野彦三郎

誰に似たのかおどけたこの児　お面かぶせりやすぐ踊る　長岡・鈴木六可仙

狸と狐の恋愛ごっこ　どちらも実意の無い同士　選者